

---

新しい医療であなたに起きる衝撃!!

## 最新情報！ アメリカの代替医学

～ 今日から役立つ!米国のNIH公表データー解説～

アメリカは本格的に従来医学と代替医学の統合に入りました。

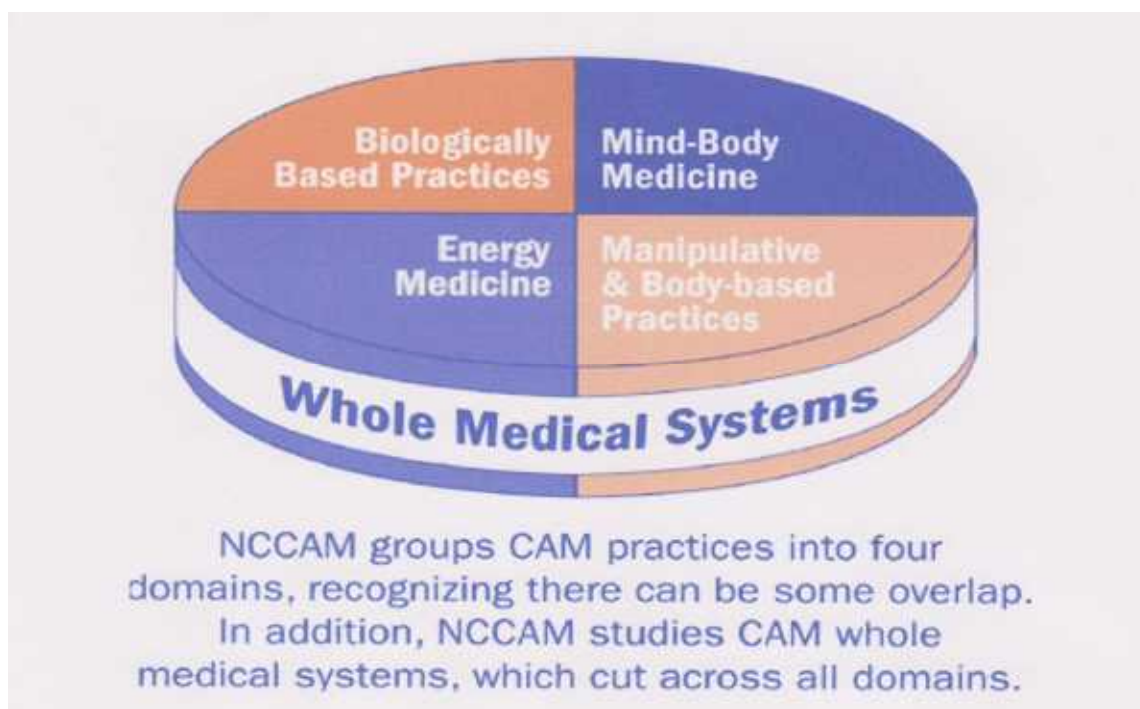
これらの資料は NIH(米国国立衛生研究所)が公表しているものです。

NIH は日本の厚生省にあたるアメリカの機関であると共に、世界の医学研究の方向に絶大な影響をもつ医療機関です。この機関の動向を知らずして将来の医学の方向性の理解は困難です。

また、NIHの動きとは別に、2004年のガン国際会議では代替医学(CAM)の公認が決定されました。

すでに、がん治療を含めた診療体系の枠組みが新しい医学へと大きく変化しています。

### アメリカ国立衛生研究所相補代替医学センターの公表資料



---

代替・相補医学の体系 = CAM Practices

1、機能成分医学:Biologically based practices

Biologically based practices use substances found in nature , such as herbs , special diets , or vitamins(in doses outside those used in conventional medicine).

2、エネルギー医学:Energy medicine

Energy medicine involves the use of energy fields , such as magnetic fields or biofields(energy fields that some believe surround and penetrate the human body).

3、身体手技医学:Manipulative and body-based practices

Manipulative and body-based practices are based on manipulation or movement of one or more body parts.

4、心理医学: Mind-body medicine

Mind-body medicine uses a variety of techniques designed to enhance the mind's ability to affect bodily function and symptoms.

5、代替相補医学の医学体系:Whole medical systems

Whole medical systems are built upon complete systems of theory and practice. Often , these systems have evolved apart from and earlier than the conventional medical approach used in the United States.

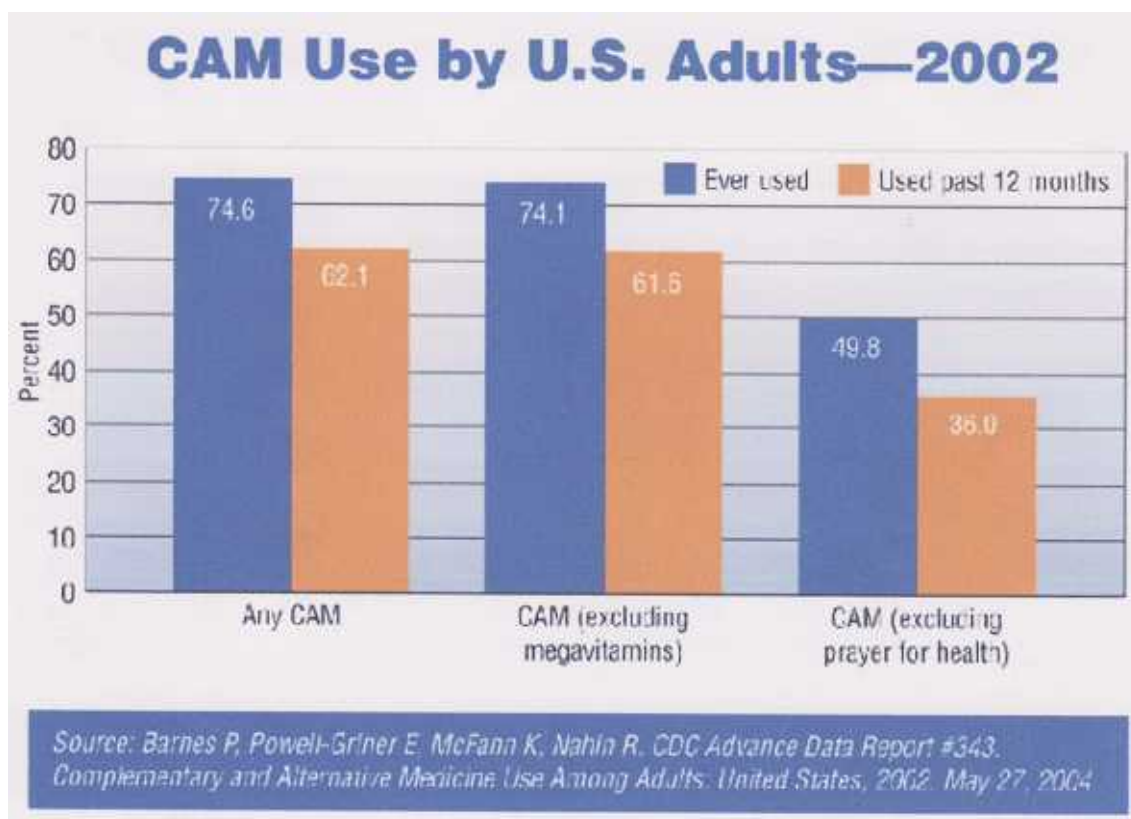
---

## CAM の使用状況

過去、1年間で代替相補医学を使用した米国市民は、 62.1%

今までに、代替相補医学を使用したことのある米国市民は、 74.6%

(2002 年米国成人データ)



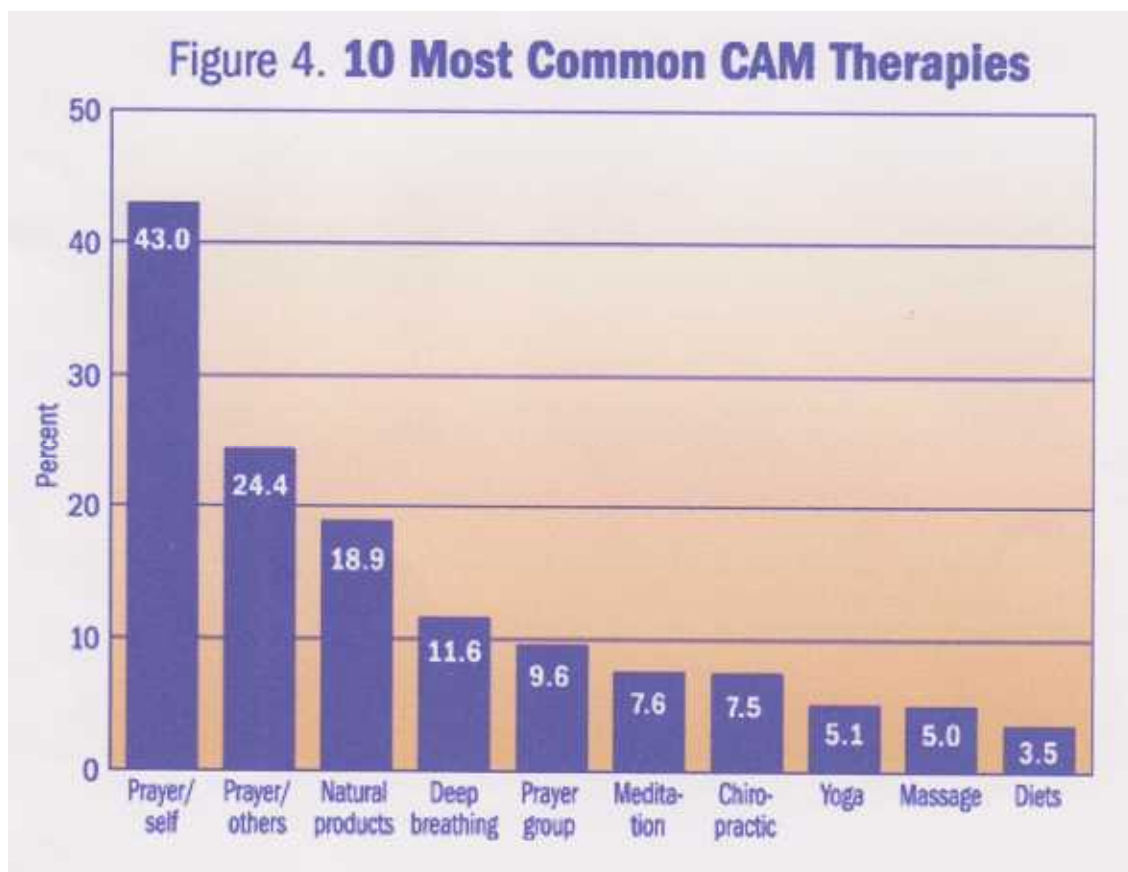
米国で代替医学が正式ながん治療として公認されたのは、このデータが示すように市民の代替医学の利用状況が無視できなくなったという背景が隠れています。

---

## 一番よく使用される療法

一番よく使用される療法は、スピリチュアル療法である。(驚いてはいけない。)

スピリチュアル療法が、どれほど批判されることがあろうが、消費者が求めているものはこの部分である。日本では、スピリチュアル療法の普及状況や代替医学での主要な立場がほとんど理解されていない。



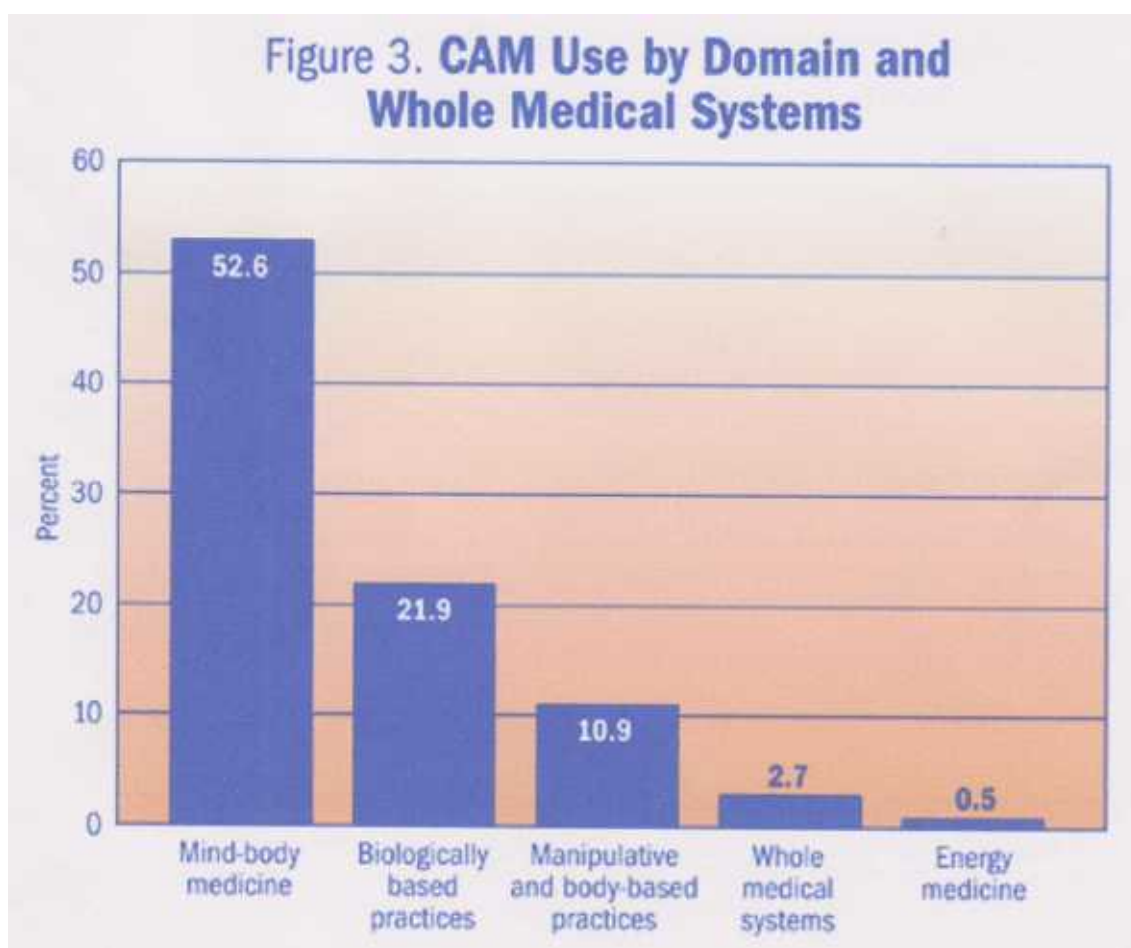
---

## 米国で最も使用される代替医学領域

最もよく利用されている代替医学領域は、心理医学(マインドーボディ医学)である。これは心理を利用して肉体を治す療法で、通常の心理療法を使用して心を治すという療法とは根本的に異なることに注意が必要。

マインドーボディ医学の“マインド”には、心とスピリチュアルの両方を含む意味として使用されていることにも注意を必要とする。

2 番目の多く用いられる代替医学領域は、ビタミン・栄養素・未承認薬剤などの機能成分を用いた医学である。



### Energy medicine(エネルギー医学)

エネルギー医学は CAM 療法の 4 つの主要カテゴリーの一つであるが、米国においての利用はまだ低い。その理由は、米国では過去にエネルギー療法を禁止したという歴史的経緯があるためである。ドイツ、イギリス、フランスなどの西欧諸国ではエネルギー療法の禁止はなかったため比重が高くなっている。今後、米国でもエネルギー療法の比重が、急速に高まっていくものと考えられる。

---

---

1:このデータは NIH(米国国立衛生研究所)の NCCAM(国立相補代替医学センター)の公表資料から作成。

## 2:CAM

相補・代替医学(Complementary and Alternative Medicine)の略。

従来医学(Conventional medicine)の枠を超えた診療体系を指す。

実際はすでに 2004 年 11 月の国際ガン総会で、ガン治療に CAM の使用が公認されており、従来医学と代替医学は分離状態でなく統合医学となっている。すでにガン研究の世界的な権威たちは、従来医学と共に鍼や瞑想を使用して成果を高める研究に取り組んでいる。

## 3 : conventional medicine

以前は西洋医学のことを正統医学と呼んでいた。しかし、最近では習慣的に利用している医学という意味で conventional medicine (従来医学)と呼ぶことが多くなっている。

この中には理学療法、オステオパシー、主な心理療法などをすでに含み、従来医学の枠組み自体がかなり拡張された意味で使用されている。

CAM になぜ心理療法が上位にランクされていないか？という素朴な難問への解答はここにある(心理療法はベトナム帰還兵の精神的治療の必要性から従来医学の治療として認められたという経緯がある)。すなわち、一般的な心理療法は従来医学の中にすでに含まれているということである。

日本ではこの辺の事情がわかりにくいので、従来医学というと海外よりかなり狭義に解釈されることが多い。洋画などでは普通にカウンセリングを受ける場面設定がみられるが、このことから海外の状況を垣間見ることできるだろう。

世界の先進国の中で、日本だけが新しい先進医学の流れから取り残されている。

これが日本の本当の現実である。

(疑問を感じられた方は、米国国会図書館であなた自身で調べてみられることをお勧めします。)